

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 木元

山名	白馬縦走 (白馬岳～不帰の嶮～五竜岳)	山行名	個人山行
ルート	1日目：栂池自然園駅→乗鞍岳→白馬大池山荘 (泊) 2日目：白馬大池山荘→小蓮華山→白馬岳→丸山→杓子岳→白馬鑓ヶ岳→天狗山荘 (泊) 3日目：天狗山荘→天狗の頭→不帰の嶮→唐松岳→大黒岳→五竜山荘 (泊) 4日目：五竜山荘→五竜岳→五竜山荘→白岳→西/大/中/小/遠見山→アルプス平駅		
山行日	8月17日～20日	天候	連日 晴れ時々曇り
参加者	CL:土岐 SL:木元 森本 松嶋		

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
自然園駅	着	11:38	天狗山荘 (泊)	着	14:13
	発	11:42		発	5:59
白馬乗鞍岳	着	14:04	不帰の嶮	着	10:06
	発	14:21		発	10:26
白馬大池山荘 (泊)	着	14:45	唐松岳	着	10:58
	発	6:08		発	11:17
小蓮華山	着	7:48	五竜山荘 (泊)	着	14:01
	発	8:03		発	5:52
白馬岳	着	9:21	五竜岳	着	6:39
	発	9:36		発	6:59
杓子岳	着	11:50	大遠見山	着	9:25
	発	12:09		発	9:30
白馬鑓ヶ岳	着	13:10	アルプス平駅	着	11:19
	発	13:31		発	

<1日目> 朝 4:00 京田辺を出発、10:00 白馬五竜とおみ駅着。車を置いてタクシーで栂池高原駅まで行き、ゴンドラ、ロープウェイで自然園駅へ。晴天で暑い中、11:40 登山開始。ザックが重い。午後から天気は崩れてくるとの予報どおり、山小屋に着く前に少し降り出すが、ザックカバーを出しただけで、すぐ止み幸運だった。ガスの中、14:45 白馬大池山荘に到着。

<2日目> 朝からガスが急に湧いたり消えたりの繰り返し。カメラを構えると見えなくなる。山頂に着いたと思ったら疑似ピークでその後ろにまたピークが現れるということは何度か繰り返し、白馬三山に登る。白馬三山は、白馬岳が一番高く有名だが、むしろ杓子岳、白馬鑓ヶ岳の方がしんどかったように感じた。長い距離を歩いた後だったせいかもしれない。

<3日目> いよいよ不帰の嶮。その前に300m一気に下る天狗の大下りという難所もある。不帰の嶮は、I峰・II峰・III峰と3つの峰から成るが、その中でもII峰北峰とI峰の間が最も危ない核心部であり、緊張感を持って臨む。コルから見上げると急斜面で圧倒される。三点確保で着実に登っていく。下を見ると怖いので前と上しか見ない。無事不帰の嶮を通過し、唐松岳を経て、14:00 五竜山荘に到着。何と水不足のため水道の水が止められていたのには参った。

<4日目> 朝 6:00 より五竜岳に登る。快晴で360° 絶景が広がる。下山した7:00頃からガスが急に湧いてきて、景色が見えなくなる中、遠見尾根を進む。11:20 終点のアルプス平駅に到着。とおみ駅に下り、風呂に入って汗まみれの身体を洗い、疲れを癒して、帰路に就いた。

<所感> 私のような高齢者にはかなりキツイ縦走でしたが、ゆっくり一歩一歩着実に進むことで全行程を歩きとおすことができました。やっぱり稜線歩きは気持ちいい。急峻な岩稜は実におもしろい。さすがに北アルプスの縦走路は迫力がある。ガスで見晴らしはよくないことも多かったが、雨に会わなくて幸運でした。しんどかったけど、楽しい縦走で、感動と充実の4日間でした。不穏な名前の不帰の嶮からも無事帰れてよかった。同行の皆さんに感謝です。

<今回登った山> 乗鞍岳 (白馬連峰) (2437m)、小蓮華山 (2766m)、白馬岳 (2932m)、杓子岳 (2812m)、白馬鑓ヶ岳 (2903m)、唐松岳 (2696m)、大黒岳 (2393m)、五竜岳 (2814m)、その他、多くの小ピーク 距離：32.1Km 上り：3385m 下り：3682m

ヒヤリハット：天狗の大下りで道迷い。誰かがもっと早く気付くべきだった。引き返したのは正解。

感想

森本

初めての白馬・五竜は、好天に恵まれ山の雑誌に載りそうな景色の中の縦走となりました。子供たちの賑やかな声のする大池山荘を出発して白馬三山を攻略(杓子岳の直登がきつかった)。食事の美味しい天狗山荘から難所の不帰の嶮を経て唐松岳(途中で天狗の大下り縦走路から危険なガレ沢に入ってしまう、まさかの道間違い)。水不足と 60cm スペースで難儀した五竜山荘とガスが消えた五竜岳。思いで深い山行になりました。

松嶋

台風接近で実施が危ぶまれたが、1 日ズラしたのが奏功し、結果、雨具の出番は一度も無い良いお天気に恵まれました。この山域には多いのか毎日 1 回は雷鳥に出会えて、花もまだまだ咲いていて、アルプスを満喫できました。随分古い話になりますが、昔 NHK で放映された「坂上の雲」のエンディングに使われたが今回通った小蓮華山だったのを帰宅してから思い出しました。同じように気持ちのいい稜線歩きができて良かったです。ご一緒して頂いた皆様、楽しい山行を有難うございました。



雷鳥に何度も出会う



白馬岳



白馬岳山頂



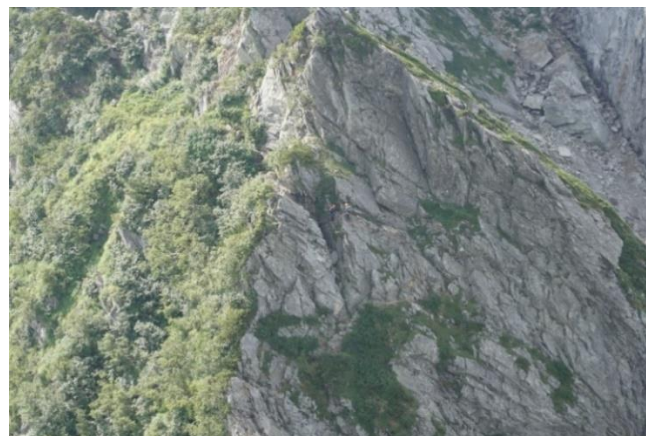
杓子岳



天狗の大下り



不帰の嶮



不帰の嶮 (写真中央に米粒のような人が二人います)



不帰の嶮



不帰の嶮 空中ハシゴ



唐松岳



朝日に映える五竜岳



五竜岳からみた雲海



五竜岳山頂



終点アルプス平駅にて 右端から左端まで縦走しました